

SSBジェネレーター

九十九里スタンダード

アイテック電子研究所

このSSBジェネレーター、九十九里スタンダードは、初心者からOMまでどなたにも簡単に、しかも再現性良く作れるように設計された回路です。その特長は、

1) 受信ノイズが小さい。

I F回路にローノイズのF E Tを使用したのと
あいまって、検波回路に最もノイズの少ないタイ
プのダイオードによる平衡検波回路を採用したこ
とにより、受信時のノイズは驚異的に少なくなっ
ています。

2) 高い安定度

本器の回路は異常発振しにくく設計されており、回路通りに作れば安定に動作してくれます。特に

I F段はこのまま3段にしても十分安定に動作する優れた回路になっています。しかもAGCアンプをA F段より取りだす事によって、I F段での安定な動作をさらに確実なものとしています。

3) 調整が簡単

調整力所は2個のコイルだけ！ほとんど無調整と言える位です。こんな作りやすいSSBジェネレーターが今まで他にあったでしょうか？

4) 作りやすいパターン

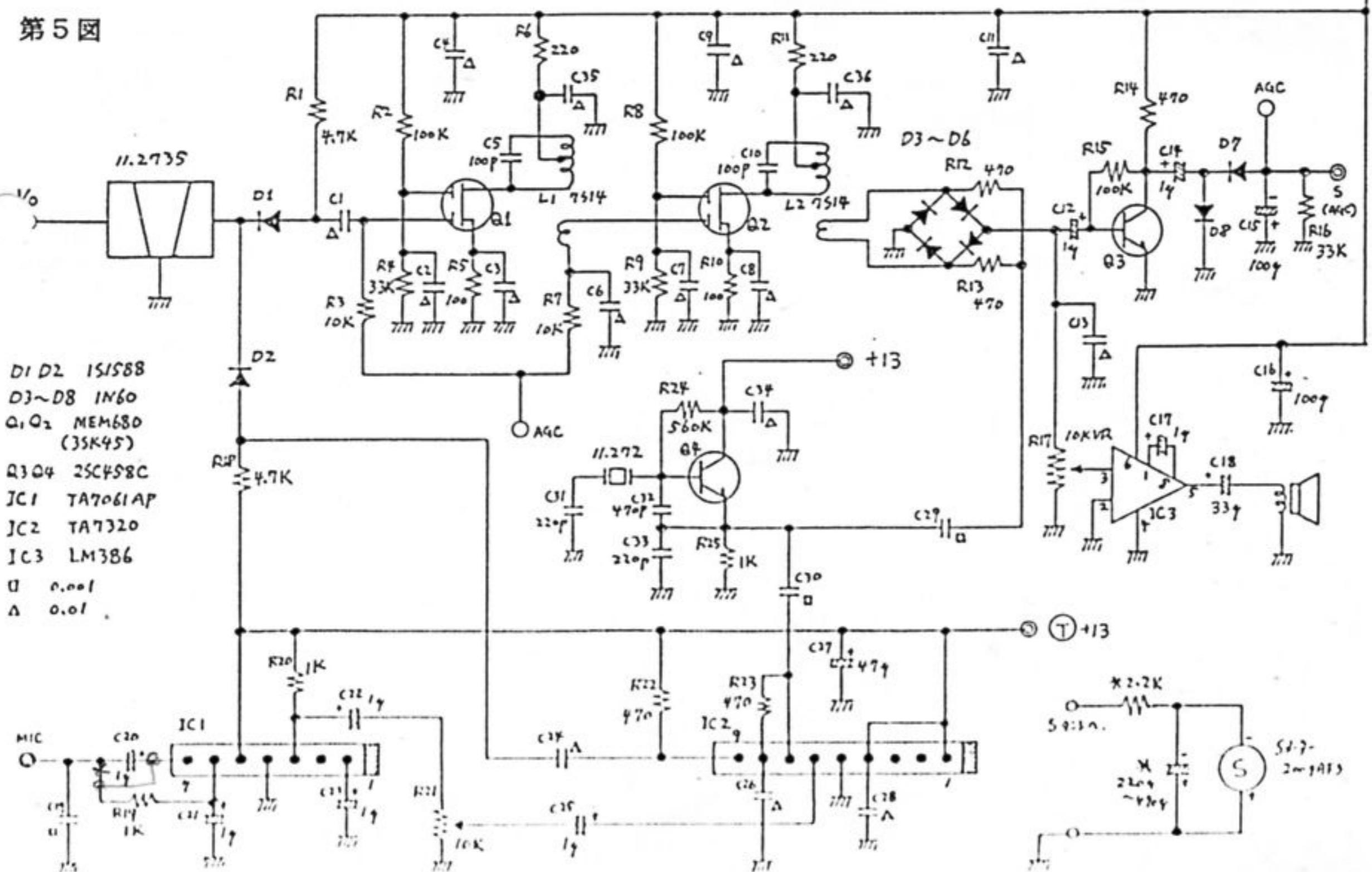
ゆったりしたパターンで大変作りやすく出来ています。しかも基板のうえにはパーシの取り付け位置が印刷されていますので、どなたにも間違なく作れます。

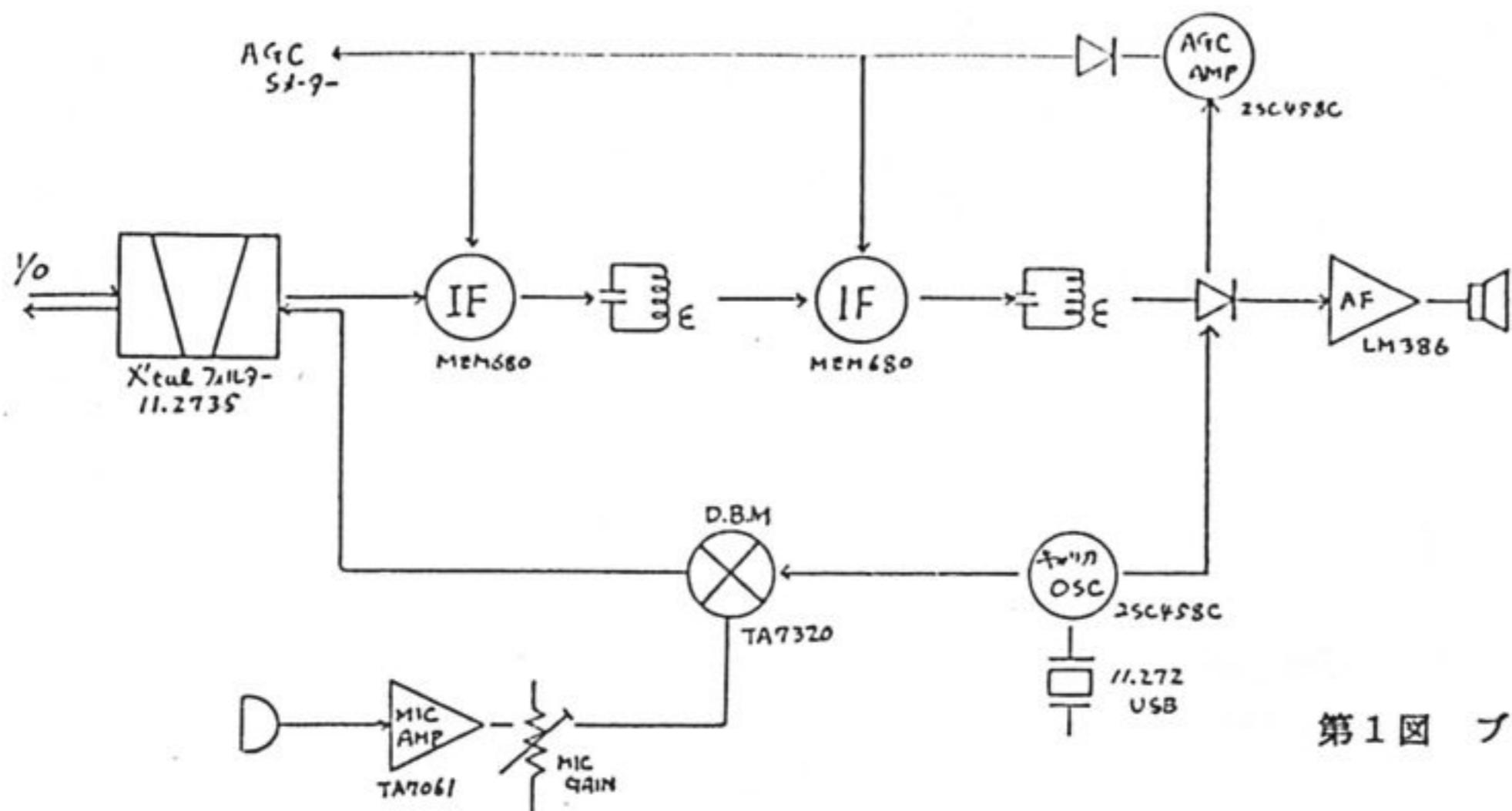
5) 優れたトータルバランス

本器の最大の特長でもあります。使ってみて初めてその良さがお分かりいただけると思います。

トータルバランスの悪い回路は、たとえ一部の性能のみが良くても、長い期間使用していますとそれが使いにくさとなって表れてきます。本器では特にトータルバランスに重点を置いて設計しました。

第5回





第1図 ブロックダイアグラム

このSSBジェネレーターの回路の詳しい解説は“THE ほうむめいど”のNO-32にも載っていますので、そちらも参考にしてみて下さい。

回路の動作について

回路の動作は第1図のブロックダイアグラムのようになっています。

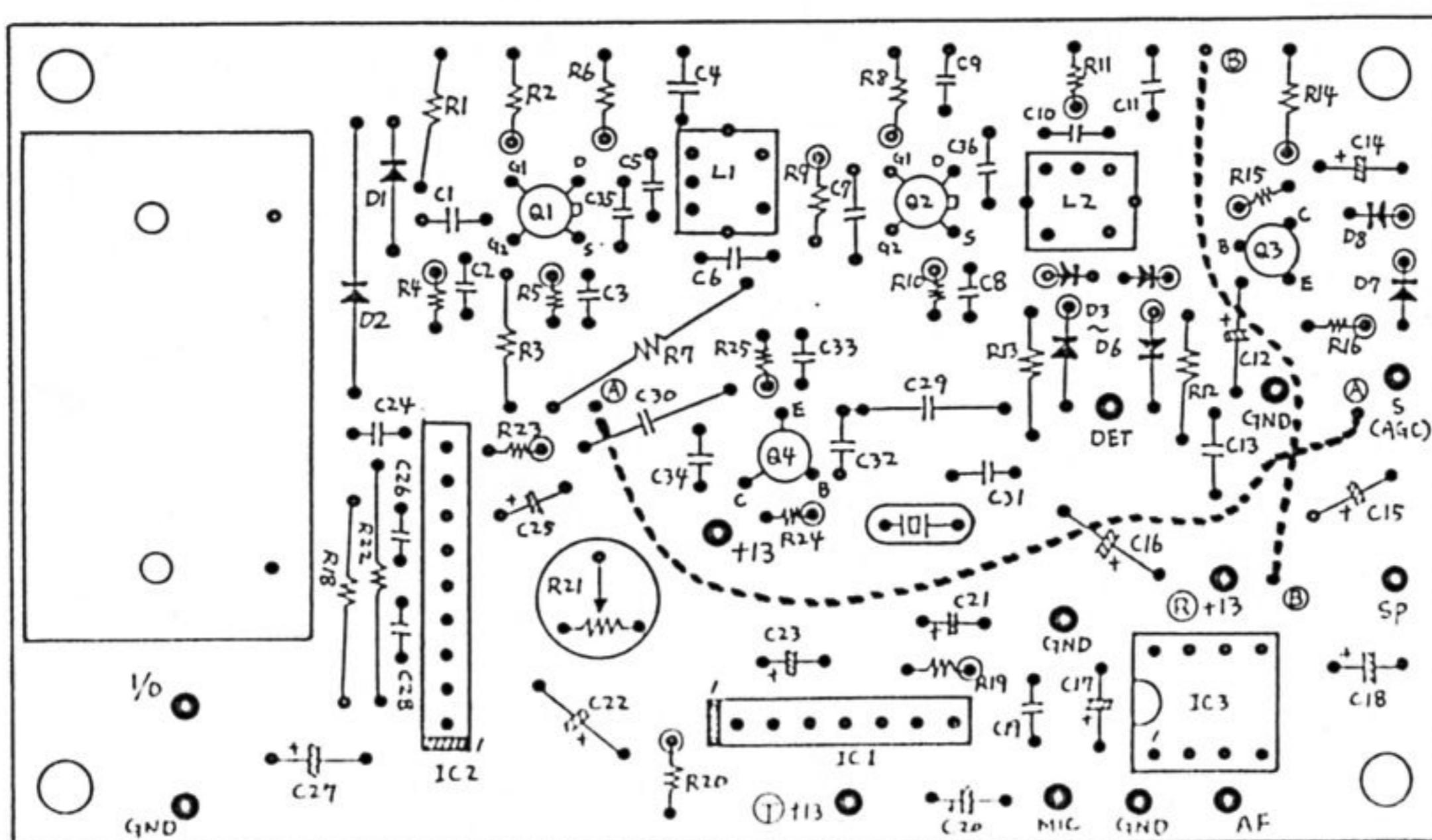
11.2735MHzのIF信号はX'talフィルターを通過後、FET 2段のIFアンプで増幅され、ダイオードで検波されます。この信号はLM386のオーディオアンプに加えられスピーカーを鳴らします。検波出力の一部は2SC458のAGCアンプに加えられ、整流されてAGC信

号となります。このAGC信号を使用してSメータを振らせます。

キャリア発振器は、受信時はSSBの復調用として、送信時はマイクアンプからの音声信号とともにD B Mに加えられサイドバンド信号を作ります。D B Mで作られた信号はDSBですから、これをX'talフィルターに通してSSB信号になります。

つまり、このSSBジェネレーターは周波数11.2735MHzのトランシーバーになっている訳です。後は目的のバンドのトランスバーターを用意するだけでSSBトランシーバーの完成です。

第4図



作り方

- 1) 最初に基板のパターンの取り付け穴周辺に、第2図のように薄くハンダメッキしておきます。この時X' talフィルターの取り付け穴も同じようにハンダメッキしておきます。
- 2) 基板にコイルをとりつけます。シールドケースの2本の足のハンダ付もしっかりと行って下さい。1本省略してはいけません。
- 3) タンシビンの取り付けを行います。第3図を参考にして下さい。
- 4) フィルターを取り付けて下さい。2本のビスは2.6mmのナットで締めつけます。
- 5) C, Rその他をとりつけます。第4図の部品配置図と第5図の回路図とを良く見比べながら間違いの無いように十分注意して下さい。LM386はICソケットを使います。
- 6) 最後にトランジスターやIC, ダイオード等の半導体を取り付けます。
- 7) 2本のジャンパー線を忘れないで下さい。
- 8) 基板をケースに取り付ける時は、必ず付属のメタルスペーサーをお使い下さい。動作が安定します。

回路図

調整はとても簡単です。受信は2個のコイルを回して受信の音が最大になる点に合せます。送信は無調整です。

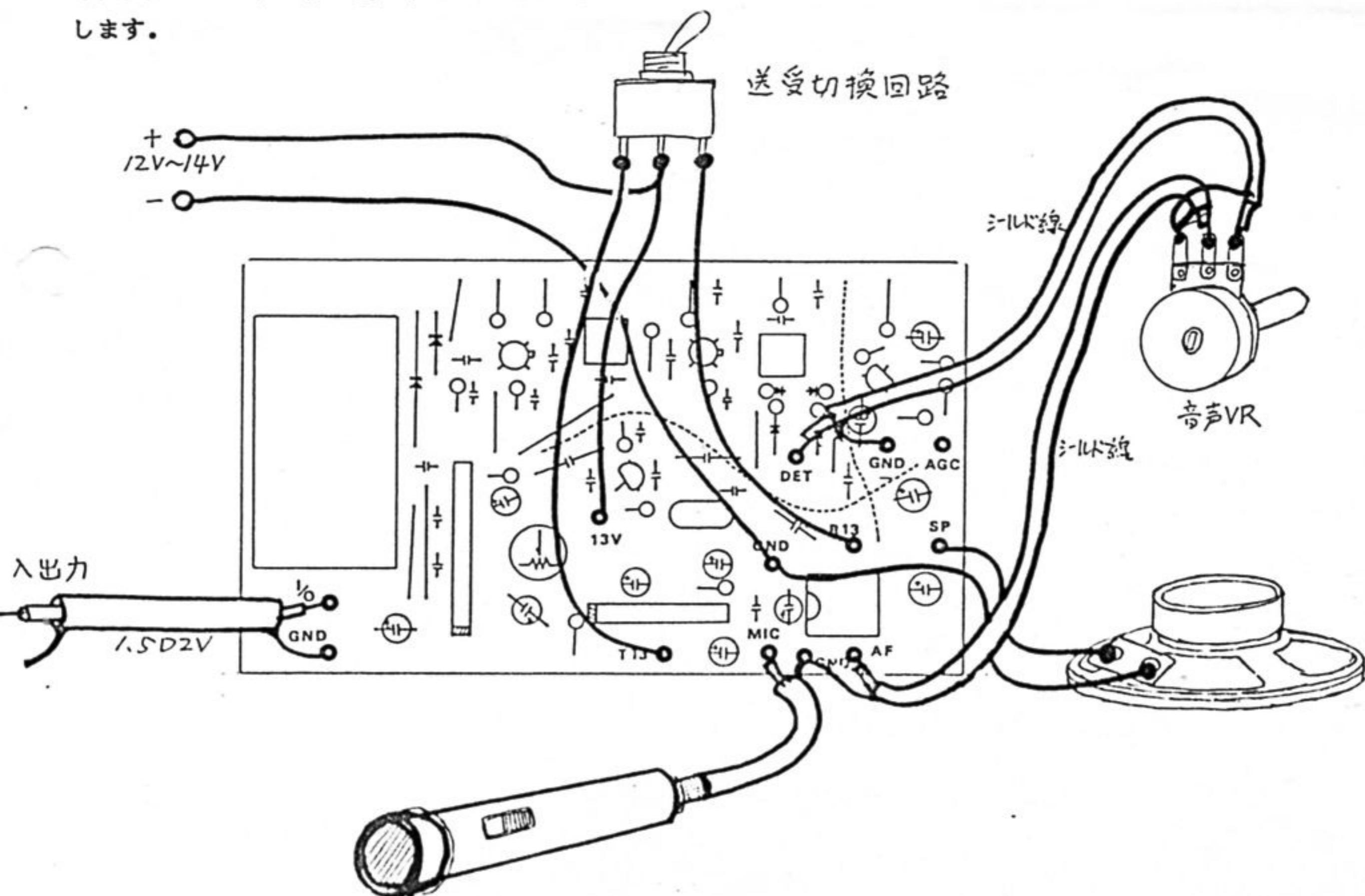
キャリアポイントは無調整ですが、必要な場合はC31の220Pのコンデンサーの値を変えて調整します。

Sメーター

Sメーターを使用する場合は、回路図のようにSメーター周辺にフィーリング調整用の抵抗と電解コンデンサーを外付けし、基板のAGCタンシとGNDタンシの間に取り付けます。

Sメーターの感度は200μAのものをお使い下さるようにお進めします。

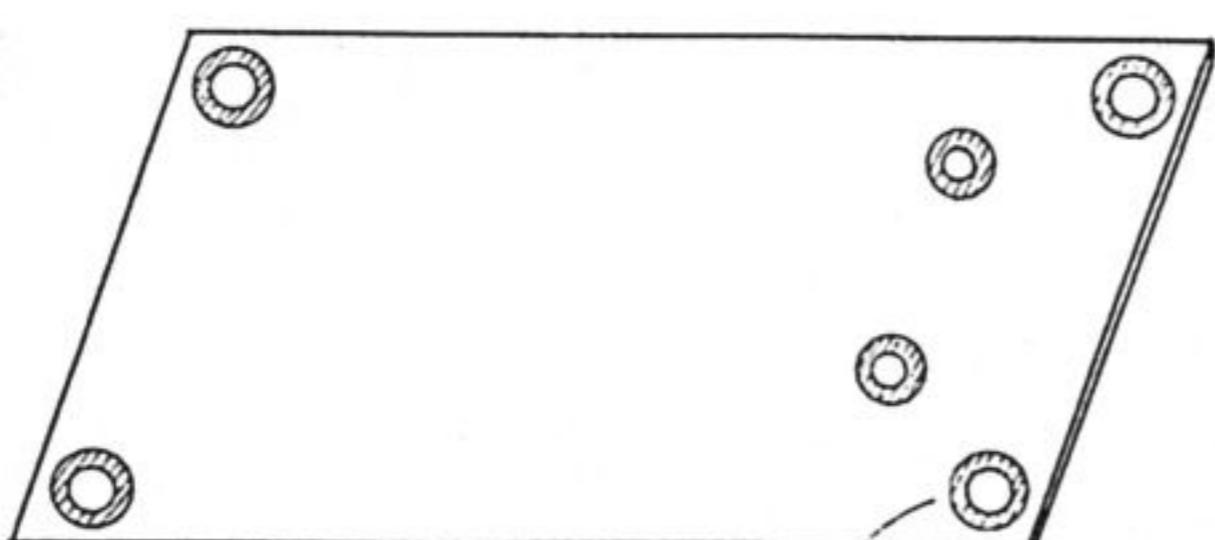
Sメーターはキットに入っていますが、2.2KΩと220μの電解コンデンサーは付属しています。



パーツリスト

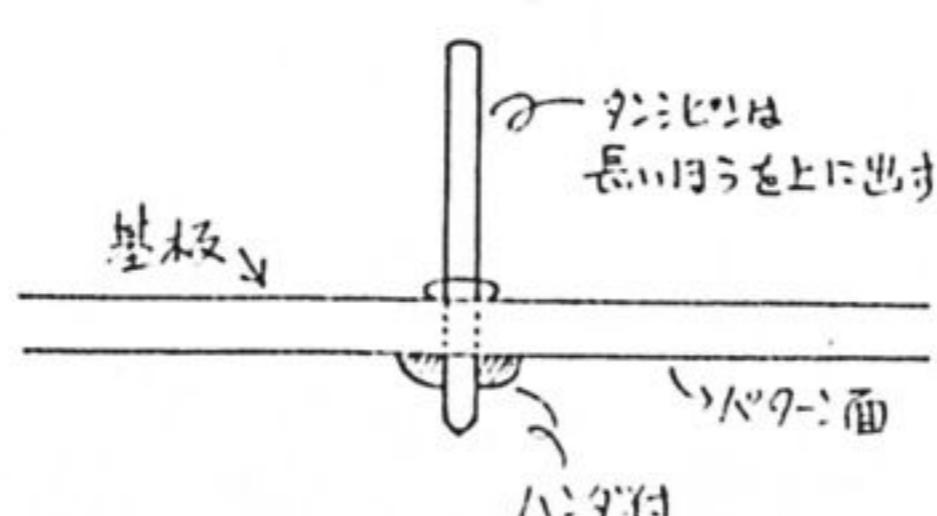
基板	1		33 μ	1
X' tal フィルター	1	11.2735	47 μ	1
USB X' tal	1	11.272	100 μ	2
タンシピン	13		100 Ω	2
8P1C ソケット	1		220 Ω	2
10K 半固定 VR	1		470 Ω	5
7S14	2	F CZ コイル	1K Ω	3
MEM680	2	同等品 OK	2.2K Ω	1
2SC458C	2		4.7K Ω	2
LM386	1		10K Ω	2
TA7320	1		33K Ω	3
TA7061	1		100K Ω	3
1N60	6		560K Ω	1
1S1588	2		メタルスペーサー	4
10KVR	1		3×5 ピス	8
220 μ	1			
100P	2			
220P	2			
470P	1			
0.001	3	102		
0.01	16	103		
1 μ	8			

- * S メーターとスピーカーは入っていません。
- * MEM680 は 3SK45, 3SK59 が入っている場合がありますが全く同じように使って下さい。100P, 220P, 470P はそれ 101, 221, 471 と表示される場合もあります。

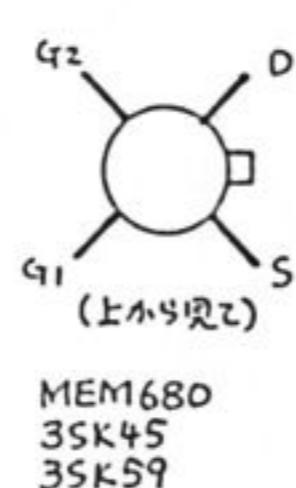


第2図

取付け穴周辺にウスク、ハンタメット
しておく! このとき、ハンタメット
を広げすぎないこと!



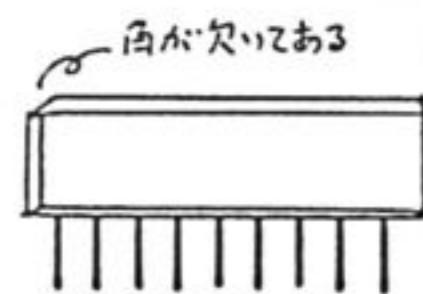
第3図



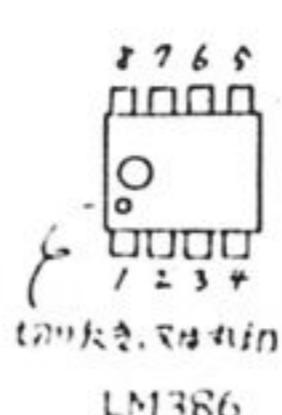
MEM680
3SK45
3SK59



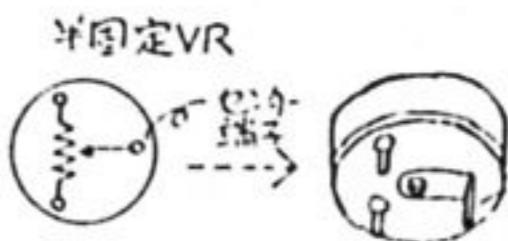
2SC458
2SC945



TA7061, TA7320
ピン番号も並んでおり
ピンのマークは同じです



10K VR



基板上記号

こ小穴
こ穴

LM386